



2026 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 ストライダーズ
代表者名 代表取締役社長 早川 良太郎
(コード 9 8 1 6 スタンダード市場)
問合せ先 財務経理部長 藤田 惇也
電 話 0 3 - 6 9 1 0 - 8 3 9 0

特別利益（固定資産売却益）・特別損失（固定資産圧縮損、減損損失）の 計上に関するお知らせ

当社は、本日公表の「2027 年 3 月期第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において、特別利益及び特別損失を計上しましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益及び特別損失の内容

（1）固定資産売却益の計上

当社連結子会社である株式会社倉敷ロイヤルアートホテルが保有していたホテル不動産の譲渡に伴い、固定資産売却益 803,901 千円を特別利益として計上いたしました。

（2）固定資産圧縮損の計上

上記固定資産の譲渡に関連して取得した買換資産について、租税特別措置法に定める特定の資産の買換えに係る圧縮記帳を適用し、直接減額方式により固定資産圧縮損 657,168 千円を特別損失として計上いたしました。

（3）減損損失の計上

株式会社倉敷ロイヤルアートホテルが営んでいたホテル関連事業の譲渡に伴い、同事業に係るのれんの回収可能性を検討した結果、当該のれんの未償却残高 64,977 千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、上記の固定資産の譲渡及び事業譲渡の詳細につきましては、2026 年 5 月 1 日付で公表いたしました「(開示事項の経過) 当社連結子会社の固定資産の譲渡及び事業譲渡の完了のお知らせ」をご参照ください。

また、2026 年 5 月 1 日付の開示では、本件に伴う特別利益を 4 ～ 6 億円程度と見込んでおりましたが、その後の会計処理の精査及び譲渡資産の帳簿価額等の確定により、固定資産売却益は上記の金額となりました。

2. 業績に与える影響

この特別利益（固定資産売却益）・特別損失（固定資産圧縮損、減損損失）の計上による業績への影響等については、本日(2026年7月31日)公表の「2027年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以上